

社会資本総合整備計画

平成28年 3月22日

計画の名称	2 能美根上SIC（仮）へのアクセス向上により、地域経済の活性化や利便性の向上を実現する道路整備										重点計画の該当				
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）					交付対象	石川県、能美市								
計画の目標	能美市周辺地域においては、高速道路インターチェンジが設置されていないため、高速道路へのアクセスが不便な状態となっており、市内の工業団地や観光施設等から高速自動車道へのアクセス時間の短縮が望まれている。そこで、スマートインターチェンジの新設、インターチェンジへのアクセス道路を整備することにより、既設企業の輸送時間短縮や円滑化の支援、周辺の観光・レクリエーション施設へのアクセス時間短縮を行い、利便性を向上させ、来訪者の増加や地域の活性化を目指す。														
計画の成果目標（定量的指標）	工業団地等の生産拠点や観光施設等から高速道路インターチェンジへのアクセス時間を短縮することにより、来訪者の増加や産業の活性化を図る														
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考		
											当初現況値	最終目標値			
											(H26当初)	(H30末)			
	インターチェンジアクセス10分圏内人口確保率（能美市内） （ICアクセス10分圏内人口確保率）（評価時）＝ 10分圏内人口 / 能美市人口										約16%	約80%			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,102百万円	A	4,102百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0%			
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名						全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
2-A1	道路	一般	石川県	直接	石川県	川北縦貫道路 山島台～菖屋	現道拡幅 L=3.4km	白山市、川北町						250	防災・安全から移行
2-A3	道路	一般	石川県	直接	石川県	能美東西連絡道路 湯谷～末信	バイパス L=1.8km	能美市						500	防災・安全から移行
2-A4	道路	一般	石川県	直接	石川県	能美東西連絡道路 中ノ江町～高堂町	バイパス L=1.5km	能美市、小松市						1,500	
2-A5	道路	一般	石川県	直接	石川県	(主) 寺畠小松線 寺畠町～和気町	バイパス L=2.1km	能美市						282	防災・安全から移行
2-A7	道路	一般	石川県	直接	石川県	(主) 金沢美川小松線 福島町～橋新町	バイパス L=2.6km	能美市、川北町						100	P5へ移行
2-A8	道路	一般	能美市	直接	能美市	(市) 高堂寺井線 高堂町～寺井町	バイパス L=0.5km	能美市						410	
2-A9	道路	一般	能美市	直接	能美市	(市) 木曾街道線(能美SIC) 吉原釜屋町	道路新設 L=0.7km	能美市						910	P5から移行
2-A10	道路	一般	能美市	直接	能美市	(市) 吉原釜屋大浜線外	道路新設 L=0.3km	能美市						150	
												合計	4,102		
B 関連社会資本整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名						全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計					0	
C 効果促進事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名						全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名						全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 能美根上SIC(仮)へのアクセス向上により、地域経済の活性化や利便性の向上を実現する道路整備

事業主体名: 石川県、能美市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
<b>①基本方針・上位計画等との適合等</b>	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○) 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③ 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 5 その他(以下の空欄に計画名を記載)</small>	
<b>②地域等の課題への対応</b>	
1)地域の課題及び利用状況を踏まえて事業内容が検討されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
<b>④事業の効果</b>	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
<b>⑤地元の機運</b>	
1)事業内容について地元の意見が繁栄されている。	○
<b>⑥円滑な事業執行の環境</b>	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○